



京都部部報



BULLETIN

第3号/2008.8 発行

京都部部長主題 「京都部555を目指してYと共に更なる飛躍を！」
～「元気・やる気・根気・本気」～

西日本区理事主題 Let's move forward with conviction! 「確信を持って前進しよう！」

国際会長主題 Service Without Borders 「国境なき奉仕」

アジア会長主題 Service Without Borders 「国境なき奉仕」



「2007～2008年度を終えるにあたって」

第12代京都部部長 **新山 兼司**
(京都トップスワイズメンズクラブ)



「京都部555 (GOGOGO) を目指してYと共に更なる飛躍を！」を主題として掲げ副題として「元気・やる気・根気・本気」で今期がスタートしました。メンバー獲得の為にメンバー間の意識の向上・所属クラブの活性化をそれぞれのクラブで検討して頂き、活発な活動をして頂きました。最重要課題のメンバー増強については、2007年7月1日付の京都部

会員総数443名が2008年6月1日には472名となり29名増員となりました。

今期は8クラブが周年記念にあたり、6クラブが周年記念例会を盛大に開催され、入会式や新メンバーの紹介も、周年記念例会に取り入れて下さいました。各クラブ共会員増強の機運も高まり、おかげさまで総ての事業に多くのメンバー・メネット・ゲストの皆さんに参加頂いた事にたいへん感謝申し上げます。又、西日本区へ京都部からCS事業資金援助申請・Yサ、ASF事業援助申請を提出した所、総ての申請に支援金を出して頂いた事に、神谷西日本区理事を初め、地域奉仕、環境事業・岩間みどり主任 Yサ、ユース事業・大野勉主任に感謝と御礼を申し上げます。新潟県中越沖地震緊急救援街頭募金2回・京都YMCA国際協力街頭募金・中国四川省大地震救援街頭募金・ミャンマーサイクロン災害街頭募金に多くのメンバー・メネット・コメントにご協力頂きました。有難うございました。又、事業開催をバックアップして頂きました各ホストクラブの皆様にも御礼申し上げます。

第12回京都部会においても489名の参加は近年になかった、最多参加数で部会が行われた事も重ねて御礼申し上げます。この機運が次期において、藤田次期部長の「意識をもって活動に参加しよう！555実現に向けて」という主題を花いっぱい咲かせて頂けるものと確信致します。最後に各クラブにおいて、YMCAや各地域の中でそれぞれ特徴のあるプログラムを活発に展開され、ワイズメンズクラブとYMCAが地域社会に向けて力強い活動や事業をされていることに誇りを持って、皆様と共にこの1年間邁進させて頂いた事に感謝申し上げます。有難うございました。

役員・事業主軸 一年を振り返って



次期部長 藤田 寿男

去る6月22日、ウイング京都において第4回京都部評議会が開催され、部旗の引継ぎも終わって2007～2008年度の役員・クラブ会長の方々は肩の荷を下ろされ、三々五々家路につかれました。午後からの2008～2009年第1回評議会への出席を前に新山部長と乙坂書記、中村主査と4人でレストランに入り4人も同じハンバーグカレーを注文したら、かなりビッグサイズな皿が出てきました。ここで象徴的な出来事が起こったのです。前記3人がペロッと平らげたと、いつもは小食でない私だけが半分ほど残してしまいました。ゴールをした人とこれからスタートする者の差をこの食べ終わった大皿が教えてくれました。ああ、私にはもう一周あったのだ。

しかし、皆さんと一緒に一周回っている間には様々な体験をしました。会議の進め方、事業の報告の大切さ、そしてチームワーク、まだまだあります。また京都部から外にも目を向けるようになりました。特に今年になってからは西日本区が関わる様々な催しに出席する機会が増え、関西弁でないお国言葉を通していろんな考え方に接することができました。それぞれのクラブライフに加え、役員とは言え他者のために熱心に奉仕をされている姿はとても素晴らしいものにも感じました。次の一周で私もその一人になるという自覚が今フツフツと湧き上がってきています。気負わず、きりとて気を抜かずあと一周頑張ってみようかと思える人間に育ててくれたのが、今日まで走り終えた一周だったような気がします。



直前部長 大槻 信二

「京都部555を目指してYと共に更なる飛躍を！」—元気・やる気・根気・本気—との主題を掲げられて出発した新山丸が、1年の航海を終え母港へと入港しました。この1年間、立場を変え直前部長として、部の運営に参画させて頂きました。その中で、部長主題の通り、停滞気味であったメンバー数について、新山部長の強いやる気と本気で、今期上昇への足がかりを作って頂いたことは、素晴らしいお働きであったと思います。勿論、部長をサポートするキャビネット・主査の皆さんのお働きも同様です。又、例年ある程度の想定外の突発的事項が発生することは、折込済みと言えば罪咎があるかも知れませんが、今期は特にその様なことが、質、量ともに多かつた期であったと思います。

その事に対しても、根気よく粘り強く対処されました。部内でもっと、各クラブ単位では解決できないことは、関連無く部の責任を果たされました。区や国際から発生し部に影響のある事項に付いては、

区内最大のメンバー数誇る京都部ですから、各種の意見があるのは当然ですが、大方の意見集約の後、区での協議に臨んだ際に、必ずしも部としての意見通りには行かない事が、多々あり悩まれた部分もあるかと思えます。これは、歴代部長経験者総てが経験することです、部内のメン

バーの皆さんもご理解頂きたいと思います。そして、もう一つの元気で、部内の多くのメンバーに新たな交流や出会いの場を与えて頂いた事、周年例会が多くあった事もあります。すが、呼び掛けられた合同例会も種々実施されました。その様な期の運営に少しでもお手伝いできたとしたら幸いです。



監事 古田 裕和

6月に京都部監事を終えさせていただきました。次期部長として渡邊部長様に京都部のことに関わっていただいていたから新山部長長期までですから4年という時が過ぎました。この間京都部各クラブのメンバーの方々には本当にお世話になりました。また色々指導いただきありがとうございました。よく多くの方から「4年は長いなあ。」と言われることがあります。しかし4年間を終えて振り返ってみると結構早く過ぎたかとも感じられます。またよい経験をさせていただき、たいへん充実したときだったなとも感じています。

そしてこの4年間の最後が新山部長期で、西日本区2000推進チームの発足もあり「京都部555を目指してYと共に更なる飛躍を」を主題に掲げられ最初からパワー溢れるスタートでした。期が始まると周年例会が非常に多い年でもあり、また、さくらクラブのことや国際大会のことなど多くのことが持ち上がり、例年以上に盛りだくさんで忙しな年だったと思います。しかし新山部長を先頭にキャビネットや主査の方々各クラブの事業や会員増強を側面からサポートすることにより京都部の多くのクラブが素晴らしい結果を得ることができたと思います。ここ数年減少傾向にあった京都部の会員数も止むがかり増員傾向になりました。また西日本区大会での京都部各クラブが多く賞を受賞できたことなどこの一年を象徴しているようでした。また京都クラブの森塚一貴さんが象徴賞を受賞されたことも京都部の一員として非常に誇りに思えることでした。この勢いを藤田部長期も引き継いでいただいでよりパワーアップする京都部となることを確信しています。宜しくお願いいたします。

締めくくりの年が充実した期であったことを嬉しく思うと同時に、これまでお世話になった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



YMCAサービスユース事業主 竹田 博和

この1年間を無事終えることが出来ましたことに対して、先ずは新山京都部部長をはじめ京都部の役員、各クラブ会長、委員長の皆様にお礼申し上げます。

「ともに歩むYMCA」を事業主題に活動をしてまいりました。とりわけYMCAの大きな目的の一つである青少年の健全育成ということ、リーダー・ユースの活動を通して、我々Yメンが理解できるような1年にしたいという思いがあります。その手段の一つ

役員・事業主査 一年を振り返って

としてY Yフォーラムにおいて、リーダー・ユースの皆さんより純粋かつ情熱あふれる活動報告をいただきました。彼らを理解する一端となったのではないのでしょうか。こうして知り合ったリーダーがやがて社会人となりワイズの下で知り、また我々とともに活動できる日を楽しみに待ちたいと思います。

また、チャリティーランにおきましても協賛金をはじめランナーの紹介等多大のご協力をいただきありがとうございます。メンバーの皆様にはより一層のご理解とご協力を願っています。Yサ主査としての職務を終えたいと思います。ありがとうございます。

今、YMC Aは公益法人制度改革の真っ只中にあります。メンバーの皆様にはより一層のご理解とご協力を願っています。Yサ主査としての職務を終えたいと思います。ありがとうございます。



地域奉仕・環境事業主査 上澤 正廣

もったいない(環境)、もったいない(感謝)を主題に掲げスタートした1年、体験すること、参加することを心情として西日本区、京都部の事業、また各クラブの周年事業と部長公式訪問の随行で13クラブへ訪問体験させていただきました。人と人との出会いがあり、交流が出来たこと感謝です。2007年7月に新潟中越地震が発生、京都部での街頭募金、2008年5月2日にミャンマーサイクロン災害、5月12日には中国四川大地震災害が発生し街頭募金活動、6月14日の西日本区大会での募金活動、その日に岩手・宮城内陸地震があり地球の未来と環境を意識せざるを得ない1年でもありました。

2007年7月22日の西日本区地域奉仕・環境事業、メネット事業合同研修会をスタートとし、9月21日京都部地域奉仕・環境事業懇話会の開催、11月11日YsデーでのHIV/AIDSの啓蒙のためのナシの配布、1月27日CSチャリティーボウリング大会(ウエルクラブさんホスト)の実施、2月17日にUGP国聯統一事業STOP「HIV/AIDS」理解のための講演会とワークショップをメネット事業と合同で開催、鬼塚哲郎氏(京都産業大学文学部教授・MASH大阪)に監修していただきました。

今期は、CS資金の支援申請が6クラブ5件あり全て支援して頂きました。在京各クラブさんの地域奉仕・環境事業への熱心な取り組みと、支援先としての協働事業など関係の深さを感じました。ほんとうに色々を体験させて頂けたことに感謝です。ほんとうにありがとうございます。



EMC事業主査 三村 良行

一年を振り返っての思いはあまりにも時のたつのが早すぎた事です。今期は西日本区、京都部よりの指示で会員増強を最重要課題として各クラブ会長及び各クラブEMC委員長の方々にお願ひご協力を頂き、一年を邁進して取り組みを行いました。その結果5月末現在51名新入会員を

得る事が出来ました。例年の如く退会者も多数出ましたが純増で28名で数年来続いたメンバー減少傾向に歯止めをかける事が出来感謝致します。今期の準備段階で京都部各クラブ会長の新入会員獲得希望は109名でそのほぼ半数を獲得出来たのも各クラブEMC活動を活況に取組んで頂いた結果で改めてその功に感謝させていただきます。結果的に新入会者を得る事の出来なかったクラブも数クラブは御座いますが、今期の各クラブEMCの取り組みは素晴らしい活動で必ず各クラブの様になるかと確信しています。

そしてもう一つ今期は、京都さくらクラブ解散、移籍という京都部にとって大きな課題を処理させて頂きました。京都さくらクラブメンバーの方々の苦渋の決断を思うと調整のお手伝いが出来た事に安堵しております。そして移籍受け入れを表明頂いた5クラブには改めて感謝致します。当初の予定は5名のメンバーによる移籍でしたが最終は4名の方々が京都クラブに移籍され7月より京都クラブメンバーとして新たな活動を続けられました。

この一年多数のワイズメンに助け頂き無事大役を終える事が出来感謝そしてその機会を与えて頂いた新山部長に感謝致します。



ファンド事業主査 中村 豊

ワイズの何かの役を終えた後、「あすたれば良かった、これも取り組んでおけば良かった」と、だれしも苦い経験をするものですが、私もこの一年を振り返って同じ思いがしています。

ファンド事業は個々のクラブが献金をアクトするのが本分とされています。部長公式訪問の随行でこの事をアピールするのですが、何分と、締切期限が後半の3月末である事からだれしも半年先の事と、熱心に取り組んでもらえなかったのが現実でした。そうこうするうちに、①区や部というBFファンド(広義)とクラブ内のファンド収益事業(狭義)が別物にあることに気づき、②広義のファンドの仕組みを学習する例会を開いてはどうか、③狭義のファンド収益を広義にリンクさせてはどうか、それが無理であれば④普及段から広義に向けた貯蓄をしていけばどうか、などを随行の際にアピールしたのですが、なかなか各会長や委員長は忙しいのか、思い通りの展開や報告は見られませんでした。この点期首より、折りあるごにもっと強く訴えていたらと反省しております。それでも期末の区大会での発表では部内数クラブがファンド事業分野で高い順位を付けて居られるのは、さすが実力の京都部と、漸次の下がる思いがしたものです。

また今期末には、インドよりBF代表のご夫妻が来日され、東西両日本区大会に出席されました。またまた西日本区大会が奈良で開催された事から、近くまでお越しであれば日本を代表する観光地である京都へお招きするのが、我々京都部のワイズメンの責務であろうと部三役と協議し、受け入れの現場のチーフをさせて頂きました。同じワイズの世界でも国が異なること、クラブの事情や都合に我がの違いがあることを学びました。

振り返ってみましたら、部三役諸氏や先輩メンに自クラブの面々、部内外の有志メンにご指導、ご協力を頂き、成

役員・事業主軸 一年を振り返って

果はともかく私なりにファンド事業への思いを強く持てた一年であったと感謝しています。この思いを自クラブでコツコツと踏まえて参りたく考えております。この一年多くのベテランメンバーにお世話になり、大変有難うございました。厚く御礼申し上げます。



交流事業主軸 二井 徹

京都部長はじめ京都部役員の方々、各クラブ会長、交流事業委員長の皆様、一年間交流事業にご理解、ご協力大変有難うございました。昨年7月早々にSTEP留学生エルダー君がノルウェーより来日したのがこの間の様です。

あれから1年が過ぎ今期も終わりにになりました。その時は藤田次期京都部長宅にお話をいただき、またウィングクラブのメンバーにもご協力いただき本当に感謝いたします。

交流事業アンケートにも各クラブすぐに対応いただき、それをもとに8月31日交流事業懇談会を開催させていただきました。交流事業主にIBC、DBCはクラブ独自の事業でありクラブ間の情報が余りありませんでしたので大変有意義な懇談会であったと思います。他のクラブがどのように交流されているかまたIBC、DBCの締結のないクラブにも参考になったのではないのでしょうか。

今期の終わりには、センチュリークラブ片山ワイズのコメントがカナダにSTEP留学される事が正式に決まり京都部からは久々のことになりました。

最後に西日本区大会においてトッピークラブと大阪なかのしまクラブとのDBC締結式が行われました。今後とも永い交流を祈念いたします。

事業主題に掲げました「より深く、より広くより楽しい交流を」今後とも御願い致します。



広報事業主軸 森 泰弘

今期広報事業に関し、ご協力頂きました京都部各会長及び広報事業委員長有難うございました。感謝申し上げます。

広報事業今期の取り組みとしては、新たに京都YMCA三条本館のロビーに京都部広報板の設置を行いました。各クラブへ広報板利用アンケートを実施し、数クラブより掲載の申し出を頂き利用していただきました。掲載案件については、各クラブがYMCAサービス、地域奉仕・環境のすばらしい事業活動を周知していく場として、利用頂いた半面利用差支が不十分で未掲載時が多かったと思われる。

京都部HPの取り組みに関しては、前期と同じ内容の京都部HPアンケートを実施し、各クラブより利用状況、活用頻度、要望等のご意見を頂いた。特に、広報活動に利用して頂く掲示板の書き込みも特定のクラブに限定され、周知を行えず、反省の次第である。しかし、今後の京都部HPの重要性を認識し、広報委員会を開催できた事が、前述である。

今期は各クラブに於いてEMC活動及びクラブ周年事業

も多く、ワイズメンズクラブの広報及びYMCAとの共催事業により活発に広報活動が行われた。さすが京都部の力を思い知った。

今年一年間を通じ、広報事業の重要性を感じ、ハード、ソフト両面よりワイズメンズクラブの広報を継続的に行う意義を学んだと思います。



ネット事業主軸 加藤 智子

「広げようメネットの輪・支えようワイズメン」を主題に一年間、見様見真似で、頑張りました。メネット事業主軸という役職を今まで蚊帳の外の事という気持ちで見えていましたが、その主軸を自分が務める事になるとは思ってもいしな事でした。最初は諸先輩に尋ねながらのスタートでした。メネット主軸研修会・地域奉仕環境事業とメネット事業合同研修会、毎月の部役員会、と出席しているうちにようやく波に乗れた様な感じになりました。2007年9月9日最初のメネット事業として、メネットアワーを開催致しました。他の部からも御出席を頂いて75名の方の参加を頂きました。二番目に地域奉仕環境事業とメネット事業との共催で、HIV/AIDSのスライドショーと講演会を行いました。ここで78名という多数のご参加頂きました。昨年とは違った内容で、又勉強になりました。

2008年6月15日の西日本区大会でのクラブ表彰で、メネット事業優秀クラブ賞に京都部のクラブからも受賞出来た事は私にとっても、とても嬉しい事でした。センチュリークラブさんおめでとうございました。西日本区メネット報第1号に「期の終わりには成し遂げたと言う満足感で一杯で居られる様に一年間頑張ります。」と書きました。そして京都部報第2号には「縁あって御指名頂いたメネット事業主軸ですので、御指名頂いた事をチャンスだと思って頑張ります。」と、どちらも飾るように書いていたのですが、その気持ちに嘘はございません。今期が終わって、多くの方々に助けて頂きながら頑張れたと思っています。そして今まで以上に多くの方とお知り合いになれた事も感謝です。一年間有難うございました。



統括連絡主事 西岡 義郎

新山兼司京都部部長の優れたリーダーシップのもと、今期の京都部並びに各クラブの働きは、困難な課題の克服、人材協力による奉仕、金銭による奉仕とすべての分野で京都YMCAをサポートいただきました。御礼申し上げます。

理想主義者であるワイズメン一人ひとりの姿勢と働き、クラブの活動は、YMCAの学生ボランティアリーダーにとっても、子どもたちにとっても大人のモデルであると思います。輝く大人に変われば、子どもたちもその姿を見て変わります。

大人の生き方に起因する不正や偽造、青少年の犯罪など大きな課題を持つ社会にあってYMCAやワイズの働きは人と人を繋ぐ基本的な働きです。

役員・事業主軸 一年を振り返って

今期を終えるにあたり、新しい社会を創る市民運動としてYMCAとワイズの働きを更に強固なものにするために感謝と共に更なる前進を図りたいものです。



書記 乙坂 優次

親愛なるワイズメンの皆様、一年間本当に有難うございました。会長はじめメンバーの皆様のご協力のお陰で無事務めを果たす事が出来たものと喜んでおります。また、京都部役員の皆様には公私共に有難うございます。12回の役員

会を含め多くの会合や行事・オプションに行動を共にして頂き、心身ともに充実した活動が出来た事に感謝申し上げます。新山部長の掲げた「5・5・5」実現に向け各クラブが一丸となって活発な活動を展開され、確実に成果を上げられたことに心より敬意を表します。

今期は新潟中越沖地震の街頭募金から始まり、国際協力募金・ミャンマーサイクロン及び中国四川省地震災害救援街頭募金と、街頭での基金活動が多く展開され、多くのメンバーの方々に参加ご協力を頂き、また、クラブ例会においても多くの基金活動をさせて頂きましたこと心より感謝致します。有難うございました。

思い返せば一昨年の夏に、新山兼司Ysから「京都部の書記をしてくれないか？」との打診を受け、断ることの出来ない性分の私は、簡単に引き受けたのですが、これほどまでに各クラブ会長やメンバーに協力のお願いをすることになるとは思いもよりませんでした。しかし、各クラブ会長はじめメンバーの皆さん、そして部役員の方々の絶大なご協力のお陰で、この一年、無事乗り切ることが出来、ホッと胸を撫で下ろしているところです。今後はこの体験をもとにワイズダム発展に寄与すべく微力ながら頑張りたいと思いますので、末永いお付き合いと、ご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。本当に有難うございました。



書記(事務局長) 船木 成一

今期の京都部部長挨拶「京都部555を目指してYと共に更なる飛躍を！」を掲げ一年間取り組んでまいりました。その成果は555名には及びませんが、今期、京都部は飛躍的な増員を達成いたしました。この成果は、京都部のワイズに関わる皆様が一丸となり「いつも元気で、やる気をだし、根気よく、本気で取り組んだ」結果です。京都部のパワーを目の当たりにした一年でした。私は京都部のキャビネットとして京都部の各クラブ、メンバー、メ

ネット、それに関わる人々、京都YMCAに連なる人々に少しでも楽しく心地よく活動して頂く機会を作る事が私の役目だと活動を開始しました。各クラブの現状を知り、各事業の成り立ち、部内で活動するメンバーの理想と現実、様々な事を知らう事が出来ました。その中でも痛切に感じた事は、部内各クラブの事業活動に対する情熱の深さでした。この深さが京都部のパワーの源なのでしょう。振り返ってみると私が皆様から大きなエネルギーを頂いた一年間。多

くの方と出会い、多くの事にに関わり、多くの事を学んだ一年でした。京都部に連なる皆様に私は何が出来たのか疑問です。しかし、私にとって今後の活動に大きな影響を与えて頂いた貴重な一年間でした。京都部に連なる皆様に心より感謝いたします。有難うございました。



会計 笠井 俊明

期首の頃はなにぶん初めての事なのでいろいろ不手際がありました。ここに来て何とか無事に決算で次期に引き継ぐことが出来そうです。ほっとしております。大切な京都部メンバーのお金を預かり無駄なく、間違いなく、

有意義に使用される様に会計として動いてきたつもりです。しかしながらなにぶん厳しい財政事情のため、部長はじめ各部役員さんにはいろんな所で自弁されたことがあったと思います。又各クラブにおいても部事業に対して不足分の予算を付けていただき本当にありがとうございました。会計を預かるものとして大変助かりました。私は部キャビネットとしてこの一年よい経験をさせていただいたと思っています。部の流れ、状況、各クラブの動向やカラー、西日本区の動きなど多くのことが見えて来て大変見聞を広げられたと思っています。今後は1メンバーとして部の応援をしたいと思います。最後に各クラブにおきまして年2回の部費納付には速やかにご協力いただき重ねてお礼申し上げます。



第2報

ワイズメンスクラブ国際協会 西日本区

**第13回
京都部 部会のご案内**

開催日：2008年9月14日(日)
 開始時間：14:00
 第一部 式典 開会 15:00
 第二部 会場で生テレビ(15:00の例)
 第三部 昼食

場 所：ホテルグランヴィア京都(JR京都駅)
 TEL:075-264-0888

会費：10,000円

主催：ワイズメンスクラブ国際協会 西日本区
 協賛：ワイズメンスクラブ国際協会 京都部
 協賛：ワイズメンスクラブ国際協会 西日本区
 TEL:075-271-8700 (9時～18時)

ホスト：京都ウイングワイズメンスクラブ

各クラブ会長 一年を振り返って

京都ワイズメンズクラブ会長 健谷 将宏

福知山ワイズメンズクラブ会長 浅尾 善逸



先日、会長として最後であろう行事の西日本区大会が奈良の100年会館で開催されました。唯一の出番であるパナーセレモニーを終えて自クラブのメンバーの顔を見て1年間を振り返り、随分長かったと実感すると共に京都クラブの代表としての責任感から解放され肩をなで下ろしました。懇親パーティーでは、会長をさせて頂いたからこそ出会う事の出来た多くの方々とお話事が出来て嬉しい限りでした。

京都クラブは今期、「集めよう新しい力」の主題をもって、各自の持っている能力、クラブ活動で培った精神力、温かさ、団結力、誇りなどを結果しメンバー増強に取り組みました。今期京都クラブは国際加盟60周年を迎え、60周年記念例会を開催すると共に60周年記念事業を考えるという大きな課題が与えられました。1年も前から60周年記念特別チームが結集され、少しずつメンバーの方で60周年記念例会が現実味を帯びて行きました。60周年記念事業についても、京都クラブの「Yサ」の概念に従ってYMC Aからの依頼を受けてではなく、自分達で考えられるYMC Aのプログラム会員増のためのサポートという視点から、「京都YMC A子供支援基金」の立ち上げに協力させていただくという案が生まれました。60周年記念例会についても、テーマをあくまで「例会」ということにこだわりました。それは私たちがメンバーも例会を楽しみ、ご臨席くださる皆様にも普段通りに楽しんでいただきたいの思いからでした。

京都クラブは常にチャレンジ精神を持ち続け、ワイズはどうあるべきかを時代に合わせて考え続けています。会長を経験したことで、どのようにYMC Aと関わりサポートしていくのかクラブの内内外で議論を交わす機会が増え、クラブの一員としてこれから活動して行くうえで、やっとスタートラインに立てた気がします。御協力いただいた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

I. 例会

メンバー増強には親睦と良いゲストスピーチである。10月…由良川歴史散歩と題して、鞍部市資料館近沢館長。11月…AEDの実演と実習・市消防署。2月…図書館大好き。3月…地域作りにビデオを。6月…税(米)の歴史、いづれもY'sならではのゲストスピーチに感動をうけ又意識を高めた。その他の月はXマス他メンバーの親睦を主として大いに意気高揚。

II. CS事業とYMC A支援

- (1) YMC A会館前の弘法川クリーンキャンペーン
7月24日開催今回22回目。YMC Aとワイズが主唱主導して、地元自治会、地元信用金庫、京都府から中丹西土木事務所と官民を巻き込む運動となりワイズの、のほりの下、炎天下総員100名を越す総出で草刈りと、ゴミや缶拾いに精を出した。
- (2) 翌25日見違える程美しくなった川で250匹以上の鮎やうなぎを放流して100名以上の子供たちが魚つかみ大会や金魚すくいに、時間のたつのを忘れて楽しんだ。

III. 夏の小学生キャンプのプログラム

異例の猛暑の8月17～18日第24回林間キャンプは「飯ごうすいさん」「テント張り」「森林探検とその自然学習」など多くの思い出を提供した。小学生11名の参加であった。

IV. ファンド事業

北海道十勝ジャギも等580個の販売に汗した。

V. E. M. C.

上半期は新会員をさそう事に魅力あるパンフレットその他グッズ作成に終始した。Xマス例会には7名のゲスト出席がありました。ただ地方都市の事情は少子化による高齢化、地方経済の沈滞化、都市間の格差の拡大等、その対応策として地方独特の絆の緊密による各種の役職や会合の多さにメンバー自身も忙殺されて、いま一つ成果が上がらなかった事は残念であった。それでもなお挽回を期して5月例会は公開例会として



各クラブ会長 一年を振り返って

三浦綾子原作「塩狩峠」(映写時間100分)の映画鑑賞会を開催。130名におよぶ市民が集まり感激にむせんだ。その後も感動の余韻が語りつがれている。Y'sのPRも出来、参加者の名簿も100名余り出来たので、次期に有効に会員増強に進めます。

VI. 新年小中学生席上書初大会

2008年1月5日中丹勤労者会館にて開催。第31回目になる。参加生徒45名、保護者約40名、この作品は市民憲章にちなむ題材で今夏に当市で行われる市民憲章全国大会の会場にて展示されY'sのPRにも役立っています。

京都バレスワイズメンズクラブ会長 川上 孝司

今年私が主題として掲げましたHand in Hand (ともに手を取り合って) ワイズな以外より多くの人達とHand in Handの思いをバレスクラブのメンバーが、しっかりと理解してくれ、各事業とも同じ思いで進められました。



期の最初に起こりました新潟県中越沖地震街頭募金には、新しいメンバーが先頭に立ち頑張ってくれました。今年最初の例会として琵琶湖大津館においてハイアンとメンバーメネットによる納涼例会を行いました。満月が湖面に映る湖畔でのメンバーによるウクレレバンドの演奏もすばらしかったです。ゲストを含め78名参加(内2名後入会)、その中でも新潟中越沖地震募金を訴え7万円の募金を集める御出席いただいていたYMCA神崎総事に手渡しました。

10月には、ジャガイモファンドにおいて160万のファンド資金を獲得。ほか(独自事業)バレスネットオークションも行い成果が出ました。

1月には、今出川YMCAにおき、献血活動を行い、皆様のご協力により(400ml)45名の献血を達成いたしました。

3月、台湾、5月ハワイ、とのIBC交流を多くのメンバーの参加で成功させました。DBCにおいても、東京グリーンクラブ訪問、熱海クラブ来京と楽しい交流ができ

ました。

忘れてはならないのは3月に行ったウエスト、メイブル、センチュリー、ウェル、バレスによる5クラブ合同例会です。冒険家の松本紀生氏を招き、彼のユニークな解説をもとにアラスカの大自然を200インチ大画面で満喫しました。参加者は一般ゲスト、西日本区、京都部ゲストを含め180名を越えました。その中、後に数名の新ワイズメンが誕生しました。環境の大切さも感じさせてくれるすばらしい合同例会でした。

4月の夜桜フェスタにおきまして、YMCAリーダーとの合同舞台出演に成功楽しい交流ができました。今期一連の活動の成果として、得たのが、6月末におき今期10名の入会者を得たことです。Hand in Handという抽象的な言葉ではありますが、一人ひとりの言葉となり、それなりに理解され、一人ひとりの行動となり、成果を生んだように思います。この一年会長という経験をさせていただき、京都部の皆様方と楽しい一年を過ごさせていただいたことに感謝いたします。

京都ウエストワイズメンズクラブ会長 岩本 敬子

会長主題の、「笑顔」に関しては、苦しい中でも笑顔ができる、プラス思考で前向きに生きると、説明してスタートしましたが、努力したものの、本音のところ究極のこれからの課題と肝に銘じました。その当時は仕事上でも役所の都合による、建築確認認可の遅れがあり、大変な混乱時期でもありました。例会では、精神を切替えて臨んできました。歴代会長方々が、仕事との両立の中、こなされてきたことを考えますと。私も頑張らなきゃ!と思え、支えとなったことも確かです。振り返ってみますと、会長職をさせていただいたおかげで、多くの人々との出会いがありました。前半期ではなんといっても、一燈園の相大二郎先生の講演が印象的でした。スピーチの中で、「所有を持たない」との言葉に、私はジョン・レノンの「イマジン」の歌詞を重ねていました。Imagine no possessions / I wonder if you can (想像してみて、財



各クラブ会長 一年を振り返って

産はないって、できるかな) 平和を祈ることは、欲を捨て、分かち合うこと。そして、私の尊敬するマザーテレサのような生き方ができるかな?と考えさせられた事を記憶しています。12月に2名の入会式をむかえることが出来た事。今年に入ってからも、いろいろ企画例会がありました。2月の一泊例会の雪景色はいつまでも思い出す光景となりましたし、徳義会の子供達とのエコクッキング体験も楽しい例会でした。又、6月には、BF代表raoご夫妻との交流をもてたこと。いろいろ思うと、会長職をさせていただき、心の豊かさを与えていただきました。これからは、私から、心の豊かさを与えられる人になりたいと思います。今のウエストのメンバー構成の変化や時代の流れの速さの中で、今期で19回続いたゲートボールの交流を終了とさせていただきました。喜んで会長職させていただきました。楽しんで、例会に参加させていただきました。

今ここにすることに感謝です。

京都めいぶるワイズメンズクラブ会長 青木 繁幸

長くて短い一年でした。「未来のために」この主題に興味するところ、ひとつめはめいぶるクラブの未来のために今何をすべきか、ということを考え今期DBC締結という気運が高まってまいりました。二年ほど前からお付き合いをさせていただいている「熊本ひしがクラブ」との合同例会を三月末に熊本で行い、大歓迎を受けました。お互いが気に入り次期25周年にはDBC締結という可能性がかなり高まったかと思えます。熊本ひしがクラブと言えば6月に奈良で開催された西日本区大会で最優秀クラブ賞、最優秀リテン賞、EMC最優秀クラブ賞と主だった賞を総取りしたクラブで、非常に勢いのあるクラブです。めいぶるクラブもDBC締結となれば、お互いに刺激を与えあいながら共に成長していく関係になればと思っています。

ふたつめはこの地球の未来のために何ができるかということでした。地球温暖化とHIV/AIDSという地球と人

類にとって非常に大事な問題をみんなで考えるため、通常例会のときには毎回それに関するスピーカーをお招きして理解に努めました。また「不都合な真実」、「アース」という映画を観賞する例会も開催いたしました。メンバーにはこの二つの重要な問題の現状が理解できたと思っています。

最後に今期は災害で始まり災害で終わった一年のように思います。新潟中越地震、ミャンマーサイクロン災害、中国四川省大地震、そして宮城地震とやはり地球はどこかおかしくなっているのかと思える出来事です。

京都キャピタルワイズメンズクラブ会長 山田 隆之

今期の会長主題にAhead of a generationを掲げさせて頂き、メンバーの友情のお陰で何とか一年間務める事ができ、大変感謝いたしております。キャピタルクラブにはベテランメンバーから若い世代のメンバーまでバランスよく在籍されておられます。そして、このメンバーがより深い友情によって結ばれば25周年を乗り越え、さらなる飛躍ができると確信していました。



今期に私が掲げた唯一目標は25周年を次期に控え、メンバー間の絆を深め、揺るぎない団結を持ったクラブにすることでした。

現在キャピタルクラブにはゴルフ同好会の「パール会」が活発に活動され親睦を深められておられますが、今期に二つ目の同好会「釣り同好会」が発足できそうで、私にとりましては今期唯一の成果?で、多くのメンバーに参加して頂き、さらに親睦が深まる事を期待しております。

また、各事業委員長さんには私がイメージしていた以上のプログラムを実行していただき、大変満足のいく結果を残せたと思っています。

今期、会長として冷静にクラブ見つめ直す事ができ、キャピタルクラブのすばらしさを再発見することができました。メンバー全員が今期の自分のポストを理解し的確に行動し、絶妙なバランスと配慮で事業にとり組み、



各クラブ会長 一年を振り返って

新しいメンバーにはベテランから若いメンバーまでが阿吽の呼吸で気配りや指導ができる、そんな素晴らしいクラブでした。

最後に私のスポンサーであり、キャピタルクラブ初代会長の堀一行さんが5月23日逝去されました。今期の副会長で私にとりましては、公私にわたり本気で意見してくれる兄のような人でした。キャピタルクラブの礎を築かれ、クラブ、YMCAにたいして熱い情熱と行動力で長年にわたりリーダーシップをとられました。早すぎた死に憤りと残念な気持ちでいっぱいです。

京都プリンスワイズメンズクラブ会長 西村 博



「果敢に！そして誠実に」を標語に掲げ、一年間私なりに精一杯、クラブ活動に心を注いできたつもりです。いかなる事を成すに当たっても、誠を尽くし誠実に事に当たる事の大切さを会員と共に感じ実践する事を目指して活動してきたつもりです。この思いを十分に会員と共有し実践して行くことが出来たかを自問自答しているこのごろです。

活動目標の第一に掲げてきた会員の増強は、残念ながらプラスマイナスゼロの状態ですが、さまざまな活動の基板となる会員増強の大切さと、大変さを会員皆痛感した今期であったように思います。会員を勧誘するにあたっては魅力あるクラブ作りが必至です。その事と、会員増強の必要性について意識を持って勧誘に当たるという動きが次期に繋がる事を強く念じています。

今期の活動においては、メネット会との協力で、「使用済み割り箸の回収事業」に取り組み、それなりの成果を上げる事ができたのではと自負しています。この件では、地域社会への環境意識の啓発をも含めて評価を頂、西日本区地域奉仕・環境事業よりCS事業資金の拠出を戴く事になりました。この資金の重みを十分に自覚して来期、クラブとしても十分に会員の意識啓発を続け継続事業として充実させていってみたいと考えています。

会員に対し、不慣れな会長職でもあり十分に思いを伝達実践できなかった部分もあったかと思いますが、私なりのアプローチに温かいご理解を頂、サポートして頂いた事に深く感謝しています。立場が違えば思いも異なるかもしれませんが、今後もワイズダム精神を忘れずに手を取り合ってより良いクラブ作りに励みたいと思います。

最後になりましたが、プリンスクラブ会員はもとより支えて頂いたすべての方々に御礼を申し上げます。一年間本当にありがとうございました。感謝！

京都センチュリーワイズメンズクラブ会長 岡見 弘道

「07年7月から、丸一年があつという間に経ちましたが、当京都センチュリーワイズメンズクラブでは、一名の増員という、二回目の会長職としては、目標にはるかに届かない数字で、力不足を実感させられました。一方、脱落者が出なくてほっとしているのも正直なところですが・・・。毎月の例会やその他の行事を思い起こしますと、それぞれに感慨深いものがありますが、なかでも6月の奈良での「西日本区大会」で、DBCの「宮崎クラブ」のワイズメンと懇親できたことが有意義であり、かつ私個人としては心に残る一番の行事でした。地理的に離れた場所のワイズメンの方々とのお出合いは、なかなか刺激的でおもしろいものがありますし、またあまり知らない土地への好奇心をかきたて、旅へのきっかけを与えてくれる貴重な機会でもあります。こんどはぜひとも行つたるねん！と私だけでなく他のメンバーも思っているはず。私自身も、多忙にかまけてなかなか他のワイズメンズクラブの例会などには出席できていませんが、会長職の時には、記念例会などで京都部の他クラブへ赴く機会が増え、他クラブの雰囲気や運営などの違いが垣間見えて、これまた大変勉強になったことも事実です。これからは、新会長をサポートして、自身ができなかったメンバー増強に、できるだけ協力していくのが使命と考えております。



各クラブ会長 一年を振り返って

京都ウイングワイズメンズクラブ会長 中村 弘二

皆様のお陰でこの一年が暮を閉じようとしています、振り返れば多くの事が今私の脳裏に浮かんで来ます。

6月後半から始まったリトセネットワーク、7月サバエワーク・8月金浦クラブのコメットのホームステイの受入・青白キャンプ支援・・・と続き9月には京都部会に韓国金浦クラブから3名が来日され、11月にはウイングからキムチ作り支援に8名が訪韓し、1月には20周年記念例会を多くのワイズメンをお招きし開催、インドランチYMCAからサンガ氏、ペロニカ・ハンス女史を韓国金浦クラブからバク会長と5名が来日されIBC交流・支援を確認致しました、私達が行っています「困地なき支援」が西日本区神谷理事にも評価をいただきました、今後とも継続していきましょう。

2月以降は全国車いす駅伝支援・リーダー祝会・JOCSウォーカー支援・夜桜フェスタ参加・鴨川チャリティーラン支援と他にも此処に書ききれない程の多くの例会や事業に参加支援を行いワイズの奉仕精神・自己研鑽・親睦・友好等を磨き成長をさせていただきました、これらの事を踏まえ、来期には早速9月の京都部会に向けて一丸となり、20周年記念例会の大きな成功を糧とし、第13期藤田部長の京都部をより大きく成長させましょう。

最後に京都部の新山部長始め各役員様又各クラブの会長様及び京都ウイングクラブの三役並びに各事業委員長・委員の皆様多大なるお世話になり感謝致します、私自身当初はこんな病の体で出来るのかと大きな戸惑いが在りました、皆様の励ましや大きな援助で少しずつですが私なりにさせていただいたなあと、皆様にもう一度御礼を言わせていただきます、京都部の皆様ありがとうございます!!



と例年以上に忙しい時、私が事故で入院し、メンバーやワイズ関係の皆様にご迷惑を掛けましたが、メンバーの協力で乗り越えることができました。前年度から打ち合わせを重ね、正月休み返上で、1月13日に開催致しました20周年記念例会には、京都部各クラブのメンバーは勿論、西日本区、京都部役員、近隣各部、IBC台北大橋クラブ、DBC博多オーシャンクラブ等々多くの皆様のご参加を得て、成功裏に行なえ、洛中クラブのメンバーに元気を与えて頂きました。20周年記念事業のもう一つの柱である児童養護施設つばき園満干持り招待プログラムは、西日本区CS資金援助も得て、5月18日、津市御殿場浜で行いました。毎年、サバエキャンプ場日帰りキャンプ、花火大会、その他のプログラムを支援して参りましたが、満干持りをしたことがない園児が多く、つばき園の要望もあり、実現致しました。夢中で貝を探り、美味しそうに浜茶屋で食事をする園児たちの笑顔は、私たちに感動を与えてくれました。一丸となって、すべての事業を予想以上のものにして頂いたメンバーに感謝すると共に、次年度、20周年記念事業で得たものを洛中クラブ最大の課題であるメンバー増強につなげるため、フォローすることが次に与えられた私の役目だと思います。



京都洛中ワイズメンズクラブ会長 室田 博行

京都洛中ワイズメンズクラブ20周年の記念すべき年度に会長となり、相当なプレッシャーを感じていました。当初の20周年記念事業の準備、そして通常のクラブ活動

京都エイブルワイズメンズクラブ会長 大場 朗

エイブルクラブの後期の主立った活動を報告致します。

2月は、エイブル設立記念例会に「EMCコンサート」を開催し、メンバーゲストを多数お迎えいたしました。(結果的には増員出来ませんでしたが) また、京都部主催の「HIV/AIDSシンポジウム」をトップクラブと共にホストさせて頂きました。

4月には、IBC締結クラブの韓国 中都クラブより急遽来日されるとの連絡が入り、臨時例会を開催し、メンバー全員でお迎えする事が出来ました。また、YMCAの夜桜フェスタと日程が重なり、リトリートセンターで一緒に参加することができ、よい思い出になりました。

各クラブ会長 一年を振り返って



5月には、YMCA主催の「チャリティーラン」へお弁当の屋台とグループランの参加。

なにより後期もいろいろと忙しい月日を過ごした感じでした。

この一年を通して、クラブ内での団結力はより一層強いものになったような気がしますが、心残りは、結果的にメンバー増強が出来ませんでした。全メンバーが、このままでは危機感が芽生えたことは確かです。エイブルクラブも次々期に20周年が控えており、出来るだけ多くのメンバーでその時を迎えたいと思います。

最後に、京都部の役員の方々、YMCA関係者の皆様、他クラブの会長の方々、様々な方とお会いできる機会をいただきましたことに感謝申し上げます。一年間お付き合い頂き、ありがとうございました。

京都グローバルワイズメンズクラブ会長 大岩 英人

会長主題である「ひとりの一歩、みんなで一歩、世界に一歩」を深く理解していただき、全ての事業が無事に終わり、15期の幕を閉じようとしています。

EMCにおいては、澤田EMC主任を輩出しているクラブとして、特に会員増強に力を注ぎました。メンバーの協力により9名の新入会員を迎えることができました。その内、8名が40歳未満の青年会員というのは、5年、10年後が更に力強いクラブになっていると確信しています。



5年前より計画をしていた、カンボジアでの小学校建設が2月に完成し、15名で現地に向かい贈呈式に参加してきました。その時に見た子供たちの眼の輝きは今でも忘れる事ができません。今回のような世界に目を向けた活動が今後も続けて行きたいと思います。同じく、カンボジア小学校贈呈式に参加された紺谷次期会長は新たに「国際CS委員会」を立ち上げると表明され、グローバルクラブの名に相応しい、世界に目を向けた新たな一歩が始まろうとしています。

3月1日の15周年記念例会では274名の参加により、カンボジア小学校建設の披露を主とした例会をさせていただきました。ご参加いただきました皆様のお陰で、滞りなく終えられましたこと、この紙面をお借りし御礼申し上げます。

最後に、三役はじめ各事業委員長の皆様のご協力により全ての事業、行事が無事終了できたことを感謝したいと思います。何よりメンバー一人ひとりの一歩の大きさ、大事さを実感する一年であったと思います。これからもグローバルクラブのメンバーとして世界に目を向けた活動を続けて行きたいと思います。

一年間、本当にありがとうございました。

京都みやびワイズメンズクラブ会長 前 登

「もう一歩、プラス1!」を今期の会長標語にかかげ、みやびクラブの15期会長をつとめさせていただきました。

私もみやびクラブのチャーターメンバーですのでワイズ歴15年になり、今期15周年の記念例会を実施することが1つの目標でした。京都では今期6クラブの記念例会が実施され、そのなかではみやびクラブは2008年5月5日という京都部の最後の「とり」となる記念例会の実施でした。この例会をとどこうりなく実施できたことに、クラブのメンバーメネット様やたくさんおいていただきました、京都のクラブの皆様、西日本区、京都部の役員の皆様およびDBC熊本むさしクラブの皆様にあらためて深く感謝申し上げます。

おかげさまでメンバー数の少ないみやびクラブでしたが、2年ぶりに2名の新入会員を迎え入れることもできました。従来よりメンバーの結束が強く、活動的なクラブと思っておりましたが、これからさき20、25周年にむかっのひとつと自信ができたのではないのでしょうか。

メンバー増強は、迎えたゲストに比べてまだ1歩足りないところもあります。又IBCに関してもう1歩不足のところで反省点も多々ありますが、いきなり多くのことは無理が生じることもしかり、とりえず1歩前進はできたのではないかと自己評価して、次の会長にバト

各クラブ会長 一年を振り返って

ンをタッチすることといたします。

私はワイズの会長職は2回目でしたが、1回目の会長の時は無我夢中でスケジュールをこなしていたように思えます。今回、再度会長を7年ぶりにつとめさせていただき、改めて「組織のリーダーシップと親睦」「皆への感謝の心」を学ばせていただきました。

ワイズは自己研鑽といわれますが、楽しくそしてちょっときびしい中でこれからもワイズメンとして、ワイズライフを続けていきたいと思っております。



京都さくらワイズメンズクラブ会長 佐々木 稔

さくらクラブの名前も今期で終りになり少し寂しい気がしますが、京都部の皆様には、さくらクラブの設立より色々暖かく交流をさせて頂き誠に有難うございました。数年前よりクラブの有り方と今後の進む方向を色々模索して参りましたが、今期になりクラブの運営、存続は難しいと残る6名のメンバーで確認決定し、新山京都部長とスポンサークラブのめいぶる青木会長のほうに連絡させていただき、今期初めより京都部のスタッフ、三村EMC事業主ととの数度わたる協議をさせて頂き、京都部再編委員会でも何度かの協議を重ねて頂いた結果、メンバーの移籍先を京都クラブに決定して頂きました。この1年間京都部の各クラブの方々には、励ましを頂きご心配をおかけした事に対し感謝し、移籍したメンバーが京都クラブのメンバーとして、新たな気持ちでスタートを切っていると思いますので、お会いした時はワイズの仲間、京都クラブのメンバーとして、お付き合いのほど宜しくお願いを致します。2月よりメンバーは京都クラブの例会と委員会にも出席させて頂き、京都クラブのメンバーとの交流を多く持つ様に頑張っていますので今後とも暖かく見守って頂きたいと思っております。

京都トップスワイズメンズクラブ会長 宮尾 勝己

今、会長としての一年間を振り返って見て本当に長いようで短かった一年でありました。

今期、主題を和気満々「笑顔で感謝しよう」と題して一年間クラブメンバーと共に愉しんできました。この主題はトップスクラブ皆が愉しんでいる様子そして顔がほころんでゆったりしている様子を見て一番似合っている言葉をえらびました。その中には笑顔があり、笑顔があるところには人が集まりそこからいろんな意見が出てそれらが各クラブの活動(YMCAへのお手伝いであったり、地域社会への奉仕活動であったりあるいは自己の研鑽であったり)あらゆる方面につながっていくと思います。

まずは人と人が集まり時間を共有しあう訳ですから有り難うという普段当たり前のように使う言葉ではありませんが一番大事な言葉そして感謝の心を持ってやっていこうと今日までやってきました。一年間一緒に活動していただいた副会長はじめ三役さんそして各事業委員長さんメンバーの皆さんには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ここに一年間の活動報告(下半期)をさせていただきます。

- 1月9日 半期総会
- 1月27日 CSボーリング大会参加 総合優勝
- 2月13日 TOF例会 宇治は万福寺に於いて座禅例会
- 2月17日 HIV/AIDS ワークショップの開催(エイブルクラブと合同)
- 3月12日 部長公式訪問例会
- 3月9日 YMCAリーダー卒業祝会へ参加
- 3月23日 リトセンチャリティーゴルフコンペへの参加
- 4月5日・6日 次期引継ぎ役員研修会の開催
- 4月9日 Yサブワー例会
- 4月20日 リトセン夜桜フェスタにて辛ラーメンの出店
- 5月13日 CATT合同例会
- 5月18日 第4回インターナショナルチャリティーランの参加
- 5月30日 ビジョン勉強会の開催
- 6月14日・15日 西日本区大会の参加(13名)
- 6月21日 引継ぎ例会



各クラブ会長 一年を振り返って

ほかにも他クラブの周年例会に多くのメンバーに参加をして頂きました。

今期はトップスクラブから京都部部長をはじめ執行委員3名を輩出することになり役員さん達はクラブ活動と京都部のお世話と私たちに以上に忙しい一年を送られましたことにお疲れ様でしたと感謝とお礼を申し上げます。今期は京都部部会のホストをする一大事業がありましてこれらでメンバーの心が一つになり立派な部会が出来ましたことが一番の思い出になりました。今まで出会った人たちといい交流が出来ますよういい時間を共有できますように。これからも皆さんのご指導のもと愉しくクラブ活動をしていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。有り難う御座いました

京都トウビーワイズメンズクラブ会長 山内 哲

当クラブの10周年記念例会のコンセプトでもありました、「10年ひと昔」。この10年間に培った、クラブアイデンティティをさらに発展させるべく、「トウビースタイルの(さらなる)活性」をテーマとして掲げ、10周年をスタートしました。今になって想えば、あつという間の1年間でありますが、いくつかの記念事業等を経ながら、少しづつ着実に前進してきたのではと、振り返って確信しております。今期は、10周年記念事業「ライブエイド2007 in YMCA」や、10周年記念例会、また、大阪なかのしまクラブとのDBC締結など、記憶に残るいくつかの事業を経験致しましたが、それらの事業を進める過程のなかで、各メンバーが、クラブの行事に多くのゲストを誘い、結果的に8名の新メンバーを迎えることができました事が、最大の喜びであります。



設立時より、アイデア オブ トウビーをクラブの理念として掲げ、今日まで、活動を続けてきました我々は、メンバーひとりひとりが、自己研鑽に励み、仕事も、家族も、そしてクラブの活動も、プラス思考で積極的に関わる事により、社会や地域に少しでも、役に立てればと、

そんなライフスタイルの実践に励む、あくまでも個人の集まりの集合体として…、このスピリットを新しいメンバーにも、もっと浸透させて、今後、15周年、20周年と活動を続けて行ける事を願う次第であります。京都部の皆さま、今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

7月・キックオフ例会での「初」会長挨拶

10月・留学生、リーダーを50名招いての例会

2月・10周年記念例会のエンディング

京都東横ワイズメンズクラブ会長 小野 真一

今期の主題を「集まろう感謝と豊かな心で」副題「新しい感性でワイズ活動を」としました。次期からはキーマン以外以外のフレッシュな感性でクラブ運営を行っていただく布石となることを願ったのです。



私たちは、次代を担う若い力と交わり育てることを目的としたYサ事業の中のYIAを主体的に考えました。それが「あしなが育英会学生の会」との交流を密にして、今後のクラブのなかで共に活動できる場を築くスタートの年として考えました。

7月の例会に、中学の時に父親を突然亡くした「直木佳奈」さんのスピーチ例会を開催し、9月の「てんとう虫マラソン大会」にボランティアとして参加していただき、12月の「クリスマス例会」では、彼らを招待し、11月と5月の「あしながPウォーク10」には、私達が参加しました。そして2月の「あしなが育英会学生の会」のOBと現役生の年次総会に、私たちクラブのメンバー7名もオブザーバーとして参加、クラブとしての今後の関わる方向性や、お手伝いできることなどを、直接話しあうことが出来ました。今期は「あしなが育英会学生の会」の理解を深めることとあわせて、心の問題を例会に取り上げ、多発する少年犯罪の本当の深層を学び、「癒」患者を勇気付けガン闘士を目指して行われる「リレフオーライフ戸屋」を運営しておられる方のスピーチ「全盲の「オカリナ」奏者ご夫妻をお招きしての例会後半は

各クラブ会長 一年を振り返って

日本文化の遺産「源氏物語千年紀」を学び字治の地を散策し「てんとう虫マラソン大会」で最終イベントでお世話になっている歌手の「大奈」さんの元気で前向きなスピーチで皆に活力を頂きました。メンバー間の親睦として、秋には美山の茅葺の家で1泊の交流会を、春には、古い商家と水郷の里・近江八幡を桜をめでながら散策しました。

今期メンバー一人一人が、自分の持ちえている智慧と教智を惜しみなくクラブのために出していたいただいた結果が、貴重な時間としてクラブライフを楽しむ事が出来たと思います。メンバーの皆様には心から感謝します。

京都ウェルワイズメンズクラブ会長 松田 博一

今期、「Touch The Heart」といたしまして、はや一年が過ぎました。チャーターメンバーではありませんでしたが、ワイズ歴のほとんどない私にとっては、前半は右も左もわからぬまま過ぎていったように感じます。こんな頼りない会長でも何とかやってこられたのは、三役の皆様のおかげに他なりません。後半に入り、クラブの運営にも少しはなれてまいりましたが、やはり頼りなさはあまり変わることなく、相変わらず皆様に迷惑のかけっぱなしであったように思います。



チャリティーボウリングゲスト

そんな中、後半も大切な活動が目白押しでした。2月第二例会の車椅子駅伝では遠方から参加された選手の方々のサポートとして京都駅での介助もおこないました。3月には京都パレスクラブ・京都ウエスト・京都メイプル・京都センチュリークラブとの5クラブ合同例会があり、大いに盛り上がりしました。4月にリトセンでの夜桜フェスタ、5月にチャリティーランと、この一年もYサ事業中心の取り組みをおこないました。

特に今年はウェルクラブがホストクラブとして活動する行事がありました。1月の京都部CSチャリティーボウリングです。自画自費ではありますが、無事進めてい

くことができたのではないかと考えております。チャリティーボウリングの成功は、我々のような小さなクラブでもやり遂げることができるという自信につながったように思います。ご協力をいただきました、新山部長ならびに京都部役員皆様、また他クラブの皆様、心より感謝申し上げます。

来期は、キーマンである永井ワイズが会長を務められるので、大いに盛り上げていただき、メンバー増強に力を注いでいただきたいと思います。私も全力で永井会長とともに頑張っていく所存です。

ウェルクラブにご協力いただきました多くの皆様方、一年間どうもありがとうございました。



今期京都市関連活動一覧

日付	行事・事務作業・関連行事等
2007.06.01	部現次期合同役員会
2007.06.09	第2回区準備役員会
2007.06.10	代議員会・区大会
2007.06.17	07-08期第1回部評議会
2007.06.22	京都部EMC懇談会
2007.06.24	リトセン開設ワーク・EMC事業主査研修会
2007.07.01	サバエキャンプ開設ワーク
2007.07.01	区Yサ・ユース主査懇談会
2007.07.08	サバエキャンプ開設ワーク
2007.07.10	前期半年報区報告期限
2007.07.10	半年報確定後部長請求
2007.07.13	第1回部役員会
2007.07.14	第1回区役員会
2007.07.15	Hクライトン新大阪
2007.07.17	部長公式訪問キャピタルクラブ ウェステイン都日
2007.07.21	新潟県中越沖地震緊急救援募金
2007.07.22	区地域奉仕・環境・メネット事業合同研修会
2007.07.24	第1回部メネット会長・連絡員会開催
2007.07.26	部長公式訪問ウエストクラブ リーガロイヤル日
2007.07.27	~7/28日韓国大田外国語高等学校30名 ホームステイ協力
2007.08.03	平和の集い
2007.08.04	新潟県中越沖地震緊急救援募金
2007.08.05	7月度EMC調査集計表
2007.08.07	部長公式訪問ウェルクラブ 平安会館
2007.08.08	部長公式訪問トゥーピークラブ 京都全日空日
2007.08.08	~8/12日ユースコンボケーション
2007.08.10	~8/12日アジア大会 タイ パンコク
2007.08.17	第2回部役員会
2007.08.22	部長公式訪問グローバルクラブ リーガロイヤル
2007.08.27	部長公式訪問いふるクラブ ウェステイン都日

日付	行事・事務作業・関連行事等
2007.08.30	部報第1号発行
2007.08.31	前期区費・部費納入締切
2007.08.31	部交流事業懇談会
2007.09.01	～9/2日九州部部会
2007.09.01	次々期部長立候補告示
2007.09.02	リトセン秋の準備ワーク
2007.09.05	8月度EMC調査集計表
2007.09.07	第3回部役員会
2007.09.09	第2回部評議会 第12回京都部部会 部メネット会
2007.09.11	部長公式訪問福知山クラブ 福知山YMCA
2007.09.15	西中国部部会
2007.09.16	中部部会
2007.09.20	第1回さくらクラブ再編会
2007.09.22	六甲部部会
2007.09.26	部長公式訪問バレスクラブ プライtonH
2007.09.27	部長公式訪問洛中クラブ 京都全日空H
2007.09.29	中西部部会
2007.09.30	ふれあい広場（伏見）
2007.10.05	9月度EMC調査集計表
2007.10.07	阪和部部会
2007.10.09	部長公式訪問エイブルクラブ バルセシオン京都
2007.10.11	部長公式訪問東横クラブ 山科アスニー
2007.10.12	第4回部役員会
2007.10.14	びわこ部部会
2007.10.17	部長公式訪問プリンスクラブ グランドプリンスH
2007.10.19	部広報事業懇談会
2007.10.20	瀬戸山除部部会
2007.10.26	第2回さくらクラブ再編会
2007.10.31	専門学校学園祭
2007.11.01	次々期部長立候補締切
2007.11.01	B Fアテゲート応募締切
2007.11.01	部長公式訪問ウイングクラブ H日航プリンセス
2007.11.03	国際協力街頭募金
2007.11.05	10月度EMC調査集計表
2007.11.09	第5回部役員会
2007.11.11	ワイズアーク・オータムフェスタ
2007.11.17	YM・YW・世界合同祈禱集会
2007.11.17	～18日第2回区役員会 Hクライton新大阪
2007.11.18	京都クラブ60周年記念事業
2007.11.20	部長公式訪問みやびクラブ Hセントノーム京都
2007.11.30	B F切手・現金中間締切
2007.12.05	11月度EMC調査集計表
2007.12.05	第6回部役員会
2007.12.14	会員クリスマス
2008.01.05	12月度EMC調査集計表
2008.01.07	後期半年報部長宛提出期限
2008.01.10	後期半年報区報告期限
2008.01.10	半年報確定後部費請求
2008.01.11	第7回部役員会
2008.01.12	～13日区次期役員研修会 Hクライton新大阪
2008.01.13	洛中クラブ20周年記念事業

日付	行事・事務作業・関連行事等
2008.01.17	部長公式訪問センチュリークラブ ザ・パレスサイドH
2008.01.25	第3回さくらクラブ再編会
2008.01.26	ウイングクラブ20周年記念事業
2008.01.27	C S・チャリティーボーリング大会
2008.02.02	部EMCシンポジウム
2008.02.05	1月度EMC調査集計表
2008.02.08	第8回部役員会
2008.02.10	トゥービークラブ10周年記念事業
2008.02.12	部長公式訪問京都クラブ Hプリンセス京都
2008.02.17	第3回部評議会
2008.02.17	部地域奉仕・環境・メネット事業合同HIV/AIDS講演会
2008.02.22	創立119年会員集会
2008.02.23	～24日車椅子駅伝
2008.02.28	後期区費・部費納入締切
2008.02.28	部報第2号発行
2008.03.01	グローバルクラブ15周年記念事業
2008.03.05	2月度EMC調査集計表
2008.03.09	卒業リーダー祝会
2008.03.12	部長公式訪問トップスクラブ ウェスティン都江
2008.03.14	第9回部役員会
2008.03.15	～16日次期会長・主査研修会 場所チサン日新大阪
2008.03.23	YMCAリトセンチャリティーゴルフコンペ
2008.03.31	C S・TOP・FF・BF締切
2008.04.05	3月度EMC調査集計表
2008.04.11	第10回部役員会
2008.04.12	区第3回役員会・区第1回準備役員会
2008.04.13	Hクライton新大阪
2008.04.20	リトセン夜桜フェスタ・YYフォーラム
2008.05.05	4月度EMC調査集計表
2008.05.05	みやびクラブ15周年記念事業
2008.05.09	第11回部役員会
2008.05.18	チャリティーラン
2008.05.30	定期総会
2008.05.31	第2回部メネット会長・連絡委員会
2008.06.05	5月度EMC調査集計表
2008.06.06	第12回部役員会（合同）
2008.06.13	第4回区役員会
2008.06.14	西日本区大会 第2回区準備役員会 代議員会
2008.06.15	西日本区大会 表彰式 理事・役員引継式
2008.06.22	第4回部評議会 午前
2008.06.22	08～09期 第1回部評議会 午後
2008.07.05	6月度EMC調査集計表
2008.08.	部報第3号発行

第12期 京都部決算

2007.07.01～2008.06.30

○一般会計収入の部

科 目	当初予算	修正予算	決算額	備 考
部 費	1,320,000	1,297,000	1,306,500	前期429*1500 後期442*1500
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区より部一律
部活動援助金2	66,000	65,800	65,600	西日本区より部一律 部メンバー1人退部(2007)
西日本区ファン'収益			4,080	部会#1ｼｼﾞｯﾌﾟ・ｶｰﾝ売上 払戻金
利息			1,544	
半年度収入小計	1,508,000	1,472,800	1,487,924	
前期繰り越し金	1,090,236	1,096,193	1,096,193	
合 計	2,598,236	2,568,993	2,584,117	

○一般会計支出の部

科 目	当初予算	修正予算	決算額	備 考
事業費	140,000	140,000	140,000	主催活動費 @*20,000x7事業
部事業費	320,000	320,000	331,000	
ソフトボール支援金	0	0	0	
会議費	125,000	125,000	120,100	役員会・評議会・三役会 会議費等
印刷費	284,000	284,000	285,376	部報・会議資料等
部会補助費	457,000	446,000	446,000	@ ¥1,000x446人(連絡主事含む)
研修費	205,000	205,000	208,000	研修会登録費
通信費	41,000	41,000	44,325	郵便・電話・遠送手数料・部員一人ページ維持費
事務費	30,000	30,000	30,000	
慶弔費	20,000	20,000	32,229	
半年度支出小計	1,622,000	1,611,000	1,637,030	
次期繰り越し金	976,236	957,993	957,087	
合 計	2,598,236	2,568,993	2,594,117	

●特別会計収入の部

科 目	当初予算	修正予算	決算額	備 考
前期繰り越し金	320,958	320,958	320,958	
一般会計より	30,000	30,000	30,000	YC支援金
合 計	350,958	350,958	350,958	

●特別会計支出の部

科 目	当初予算	修正予算	決算額	備 考
YEEP支援支出	0	0	100,000	STEP事業支援 1人
YC支援金	100,000	100,000	0	該当者無し
予備費	250,958	250,958	250,958	
合 計	350,958	350,958	350,958	

以上の通りご報告申し上げます。

2008年 7月 1日

2007年～2008年度 京都部会計 笠井 俊明

印

上記報告に基づき、監査を実施しました所、適正に処理されていたことをご報告申し上げます。

2008年 7月 18日

2007年～2008年度 京都部監事 古田 裕和

印